

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

主管課 総務課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
<p>現在、人口減少や高齢化、グローバル化、高度情報化などとともに、少子化による社会活力の低下、環境問題、規範意識の低下などが深刻化しています。</p> <p>さらに、都市化の進展など社会の成熟化に伴い、地域社会の連帯意識の希薄化や家庭での教育力の低下が指摘されるなど、教育を取り巻く環境が大きく変化してきています。</p> <p>江別市においても、児童生徒の人数が毎年300人程度減少するなど少子化は深刻度を増しています。</p> <p>また、東日本大震災により「安心、安全の確保」が各分野で最重要課題となっており、教育分野においても、学校の耐震化を含む学校の安心、安全に対する市民の関心が高まっています。</p>	<p>これからの社会を生きるために、基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え様々な問題に積極的に対応できる力を育むとともに、安心・安全で快適な教育環境の保持が必要です。</p> <p>平成23年度から小学校で、平成24年度から中学校で新学習指導要領が実施されることとなっており、小学校では英語が、中学校では武道が必修化となるなど学習内容が増加することから、必要な備品の配備など教育環境の整備を行う必要があります。</p> <p>江別市では、平成24年度から二学期制を導入する予定であり、指導の在り方や学校生活、学校行事等への対応について、児童生徒や保護者に説明する必要があります。</p>

施策の目的

子ども一人ひとりの個性をとらえ、知育、徳育、体育の教育的営みの中で、「個々に応じた教育」を実践することによって、社会に貢献できる人材を育成します。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基礎・基本の学力を確実に身につけ、自分で課題を見つけ自ら学び自ら考え主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する能力や豊かな人間性、健康と体力等の「生きる力」を育成する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	64.9	68.2	68.3	69.3	↗

施策の達成状況 (23年度)

平成23年度から小学校の学習指導要領が完全実施されたことにより学習内容が増加しているが、複数教員による指導や少人数指導など、児童・生徒一人ひとりの理解度に応じた指導を行ってきたことにより、成果指標は増加したものと考えられます。

今後は、放課後や長期休業期間における学習支援や習熟度別指導の実施など指導方法の工夫に努め、成果の向上を目指していきます。

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	2,158,754	2,171,647	2,241,030
事業費(千円)	1,512,664	1,543,124	1,607,670
人件費(千円)	646,090	628,523	633,360

01 教育内容の充実

基本事業の目的

特色ある教育メニューをつくり教育内容の充実を図ることで、子ども一人ひとりの個性に応じた教育が受けられるようにします。また、障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援が受けられるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

きめ細かで、時代に即した教育の促進を図る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
教科の勉強が好きと答えた児童・生徒の割合	%	68.0	75.4	70.5	71.3	↗
学校の授業が分かると答えた児童・生徒の割合	%	95.3	85.8	90.3	91.6	→
不登校児童・生徒数	人	89	93	78	78	75

基本事業の達成状況 (23年度)

教科の勉強が好きと学校の授業がわかるという割合がともに、前年度より増加しているのは、ボランティア講師の活用など複数教員による指導や少人数指導など、児童生徒一人ひとりの理解度に応じた指導を行ってきたことによるものと考えます。今後は、放課後や長期休業期間における学習支援や習熟度別指導の実施など指導方法の工夫に努め、成果の向上を目指していきます。
不登校児童生徒数は、初期値との比較では22年度に続き70人台と減少傾向を維持しているが、後期目標値には到達しておらず、一層の指導対応に努める必要があります。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	263,911	298,507	399,352
事業費(千円)	220,387	252,759	343,510
人件費(千円)	43,524	45,748	55,842

02 開かれた学校づくり

基本事業の目的

学校、家庭、地域が連携して開かれた学校づくりを進めることにより、子ども達を健康的に育みます。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生、地域

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

学校、家庭、地域が連携し子ども達を育む。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合	%	67.0	67.3	-	71.2	↗
学校が地域交流の場として、活用されていると思う市民の割合	%	53.4	54.0	-	59.0	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

学校一斉公開やホームページでの紹介、学校評議員への地域の方の委嘱、学校関係者評価などにおいて地域の方の意見を取り入れる取り組みや、大麻東中学校区で地域の方が学習支援ボランティアとして学校に来ていただいたこと、また、東日本大震災をうけ学校への関心が高まったことなどから成果指標が増加したと考えられます。
今後は、学習支援ボランティアの取り組みを行う中学校区を拡大するなど、学校と家庭、地域の連携が図られ、地域交流の場となる取り組みを進めていきたいと考えております。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	5,207	5,487	6,894
事業費(千円)	3,192	3,079	3,252
人件費(千円)	2,015	2,408	3,642

03 健康と食育の充実

基本事業の目的

正しい生活習慣を身につけ、食の大切さを理解しスポーツに親しむことによって、心身ともに健康な身体を育みます。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生、保護者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

健康な体を育む。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	81.9	85.7	84.6	83.1	↗
学校給食の残食率	%	18.8	19.7	18.7	19.6	18.0
スポーツに親しんでいる児童・生徒の割合	%	64.5	60.2	-	56.2	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合及びスポーツに親しんでいる児童・生徒の割合はともにやや減少しており、学校給食の残食率は上昇しました。栄養教諭による「食に関する指導」を継続して行っておりますが、指導時間数が充分確保できないことも成果が表れない要因と考えられます。そのようななか、平成24年10月に市内全公立小中学校一斉に「食育弁当の日」を実施し、児童生徒はもとより保護者にも食育について考えてもらう機会を設けます。
また、朝食を食べて学校に通うやスポーツに親しむなど基本的な生活習慣について家庭への啓発に努めていきます。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	464,953	477,686	487,531
事業費(千円)	275,462	299,429	311,022
人件費(千円)	189,491	178,257	176,509

04 教育環境の充実

基本事業の目的

学校の適正規模化を推進し、さらに学校施設の整備を図るなど教育環境を充実させることで、子ども達にとって安全で快適な「学び舎」にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

学校施設

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

快適で安心して学習のできる学校施設が整っている。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
適正規模(12クラス~18クラス)の学校の割合	%	44.8	37.9	48.3	46.4	50.0
学校施設維持管理上の不具合のうち授業に支障が発生した件数	件	0	0	0	0	0
耐震化を終えた学校の割合(参考)	%	48.3	58.6	65.5	71.4	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

学校の適正配置については、江別市学校適正配置基本計画に基づき、23年4月に江北中学校の江別第三中学校への統合を完了しました。校舎・屋内体育館・屋外施設などについては、優先度、緊急性に配慮しつつ計画的に整備を行い、学校環境の充実に努めてきました。年々児童生徒数が減少していますが、江別市学校適正配置計画に基づく統合対象校については、協議がなかなか進まない状況であります。また、耐震化への取り組みとしては、レンガ造校舎の耐震診断が可能となり診断を実施し、今後、耐震化に向け取り組みを強化して参ります。今後も事務事業の総合的取り組み・成果の向上を目指します。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,110,189	1,061,048	1,022,672
事業費(千円)	747,892	709,910	666,175
人件費(千円)	362,297	351,138	356,497